

平成31年度 行政評価事業別シート

実計対象		☐	評価対象	☒	新規	☐	完了事業	☐	ゼロ予算事業	☐	担当者	土屋
全体計画		平成28年度		～	令和 2年度	経費区分		経常的経費		内線		3312
事務事業名		4074 福祉会館管理事業										
所 属		100100 健康福祉部・福祉課										
施 策		01020500 障がい者福祉の充実										
予 算		01 一般会計										
科 目		030105 民生費・社会福祉費・福祉会館費										
事 業		010000 福祉会館管理事業										
事業目的						事業概要・効果						
障がい者福祉の増進と自立の促進を図るために設置定した施設の維持管理と適切な管理運営を行うことにより、障がい者福祉の向上を図る。						・障がい者の福祉の増進と自立の促進を図るため、施設を指定管理者として（公社）須高広域シルバー人材センターへ管理委託する。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
- 年間登録団体数 33団体 - 年間利用団体数、利用者数 1,363団体、21,970人	- 年間登録団体数 31団体 - 年間利用団体数、利用者数 1,378団体、23,078人
平成29年度 実績	平成30年度 実績
- 年間登録団体数 31団体 - 年間利用団体数、利用者数 1,359団体、21,483人	- 年間登録団体数 28団体 - 年間利用団体数、利用者数 1,403団体、22,166人
平成31年度 予定	令和 2年度 予定

指 標 名						
福祉会館の年間利用者数						
算 式						単位 人
年 度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度
目 標 値	目 標				23,300	23,400
	実績	23,078	21,483	22,166		
指標選定の理由						
福祉関係者による会館の有効利用を図る						
最終年度目標の根拠						
年々減少傾向にあることから、平成28年度値の以上の利用として、年間100人増を目指す						
指 標 名						
算 式						単位
年 度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度
目 標 値	目 標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指 標 名						
算 式						単位
年 度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度
目 標 値	目 標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成30年度 決 算	平成31年度 予 算
事業費		3,613	3,566
特 定 財 源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	188	194
一般財源		3,425	3,372
人員数 (人)	正規職員	0.0	0.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人 員 コスト	正規職員	0.0	0.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	0.0	0.0
市民一人当たりの経費		0.1	0.1
総額		3,613.0	3,566.0

(単位：千円)

平成30年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	3,581	福祉会館指定管理委託料他
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	32	AED借上料

(単位：千円)

平成31年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	3,527	福祉会館指定管理者委託料ほか
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	39	AED賃借料

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか ・行政内部の管理運営上必要な事業であるか ・市が主体となり実施すべき事業か ・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか ・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか	普通
評価コメント	障害者、福祉団体の活動拠点として必要	
有効性	・事業の成果は上がっているか ・目標に対する達成度は十分か ・市民生活上の課題解決に貢献しているか ・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか ・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか	普通
評価コメント	施設は活動拠点として有効に活用されている。	
効率性	・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか ・効率性向上に努めているか ・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか	変わらない
評価コメント	引き続き指定管理を進めて行く。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

施設の一層の有効活用を進め、利用者の増加を図る。

ACTION**1次評価**

次年度以降の方向性	簡易な改善（拡大）
総合評価コメント	
利用者の増加を図るために、施設の有効活用等について、指定管理者と連携し進めることが必要。	

2次評価

次年度以降の方向性	簡易な改善（拡大）
2次評価コメント	
利用者アンケートや第三者からの意見聴取など、指定管理者と連携した、施設の有効活用の再考が必要	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	